

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3571		
科目名	情報管理論		
担当教員	田上 雄大		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 2		
講義室	1310	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能]専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる DP4-F[探求力・課題解決力]問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1倫理的思考・社会認識－10% E1学識と専門技能－30% F1探求と論拠－10% G1状況把握－10% H1倫理的思考－20% I3情報分析－20%		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージと対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	現代社会における「情報管理」は、インターネットやイントラネットのような様々な通信技術をもちいて構成されたネットワークに依存しています。本講義では、情報の管理の在り方がデジタル化によってどのように変化してきたのかを解説するとともに、今日の情報管理における課題やその課題を解決するための取り組みなどを、政策面・IT技術面の双方の観点から解説します。 具体的な事例紹介等をしながら、理論と事例の両面での体系的な理解と問題意識を醸成します。 授業形態は（講義）形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。（キーワード）・ITビジネス・情報技術・デジタルトランスフォーメーション・情報保護・オープンガバメント		
授業の趣旨	■副題 デジタル時代の情報管理 ■授業の目的 「情報」の社会的役割についての基礎的な知識を習得したうえで、IT化・デジタル化に伴う政府機関や企業における情報管理の変容とその課題について理解し、自らの考えを説明できるようになる。 ■授業のポイント		

	IT化・デジタル化により「情報管理」の重要性が高まっています。IT化・デジタル化により個人の視点では大量の情報を収集できるようになりましたが、一方でそれらフェイクニュースなどに代表されるような誤情報も含まれるようになり、いかに適切な情報を取捨選択し入手するかの能力が重要になっています。また、企業もプラットフォームビジネスなどに代表されるサービスでは、個人情報を含む大量の情報を収集・管理しており、これら情報をいかに適切に管理するかがビジネスを継続するための重要な施策として位置づけられています。また、政府機関についても、公文書管理の在り方をはじめとした政府機関が収集・管理する情報の適切な情報管理の在り方から、情報通信政策としてのフェイクニュースやプラットフォームの情報管理の在り方に関する制度設計の必要性など多くの課題が出てきています。 本講義ではこうしたデジタル化に伴う情報管理の在り方について基礎的な知識を習得し、企業や政府機関における情報管理の具体的な状況と、情報の利用に関する課題について、自らの考えを説明できるだけの能力を身に着けることを目的とします。	
総合到達目標	■情報管理のあり方やこれにかかわる知識を理解できるようになる。 ・情報管理に関する基礎的な知識を身につけ、その知識を前提に情報管理に関する問題を考えることができるようになる。（第1回～第8回） ・情報管理に関する法制度上の主要な論点について理解し、それらの論点について自分なりの立場から論ずることができるようになる。（第9回～第15回）	
成績評価方法	■レポート：2回（60%） （評価の観点）講義内容を理解しているか、学んだ内容を自分の言葉で説明できているかを評価します。 適用ルーブリック：C1（10%）、E1（30%）、F1（10%）、G1（10%）、H1（20%）、I3（20%） （フィードバックの方法）授業内に解説を行う。 ■授業内試験：1回（40%） （評価の観点）講義内容を踏まえ、与えられた設問に対して、的確かつ論理的に答えているかどうかを評価します。 適用ルーブリック：C1（10%）、E1（30%）、F1（10%）、G1（10%）、H1（20%）、I3（20%） （フィードバックの方法）授業時間中にて解説を行う。 ※成績評価における各方法の比率は、授業形態によって変更となる場合があります。詳細は初回ガイダンスで説明します。	
履修条件	特になし	
履修上の注意点	特になし	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、評価方法と、情報管理論の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） シラバスの内容をよく読む。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
	2	①授業テーマ 情報管理とは（総論） ②授業概要 「情報管理」についての理論や政策等を概観し、本講義における「情報管理」の考え方について学び、受講者はそれについて説明できるようにする（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、情報管理とは何かについて、自分なりの説明をまとめる。

3	①授業テーマ 情報管理の基礎技術 ②授業概要 情報管理に必要なコンピュータやネットワーク等の基本的な技術要素について学び、受講者がそれについて説明できるようにする。（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、コンピュータやネットワーク等の基本的な技術要素について、自分なりの説明をまとめる。
4	①授業テーマ 企業における情報管理 ②授業概要 企業の活動における情報管理の在り方について、企業経営と情報システムの役割を踏まえて学び、受講者がそれについて説明できるようにする。（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、企業における情報管理の在り方について、自分なりの説明をまとめる。
5	①授業テーマ プラットフォームビジネスの概要 ②授業概要 ICT領域における巨大産業であるプラットフォームビジネスの概要とそのビジネスの特徴について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、プラットフォームビジネスの概要やその特徴について、自分なりの説明をまとめる。
6	①授業テーマ プラットフォームビジネスの課題 ②授業概要 プラットフォームビジネスがもたらす課題と対応状況について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、プラットフォームビジネスの課題とその対応策について、自分なりの説明をまとめる。
7	①授業テーマ 情報管理に関する最新動向・事例① ②授業概要 直近の情報管理に関連するニュースや政策動向等を踏まえ、授業で学んだ内容を踏まえた解説、紹介を行う。場合によっては、当該分野に精通する専門家をゲストとして招く場合もある。（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。

	④復習（120分） 講義ノートを確認して、自分なりの説明をまとめる。
8	①授業テーマ 前半のまとめと質疑応答 ②授業概要 第7回までの授業で学んだ内容について質問や意見を受け付けそれに対する回答を行うとともに、前半の授業に関する補足とまとめを行う（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、自分の疑問点が解決したかどうか、新たな疑問が生じていないかどうかを考察する。
9	①授業テーマ デジタルガバメント・オープンガバメント ②授業概要 国家としての情報管理政策として、デジタルガバメント・オープンガバメント政策について学び、受講者がそれについて説明できるようにする。（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、デジタルガバメント・オープンガバメント政策の概要について、自分なりの説明をまとめる。
10	①授業テーマ 情報公開制度・公文書管理 ②授業概要 情報公開制度や公文書管理などに関する法制度の概要やその課題について学び、受講者がそれについて説明できるようにする。（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、情報公開制度や公文書管理の概要とその課題等について、自分なりの説明をまとめる。
11	①授業テーマ 個人情報保護と通信の秘密 ②授業概要 個人情報保護や通信の秘密に関する法制度の概要やその課題について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、個人情報保護や通信の秘密の制度やその特徴について、自分なりの説明をまとめる。
12	①授業テーマ 情報管理の技術的対策 ②授業概要 情報管理に求められる対策に必要な技術対策について学び、受講者がそれについて説明できるようにする。（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分）

	事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、情報管理の技術的対策について、自分なりの説明をまとめる。
13	①授業テーマ AI技術の進展と課題 ②授業概要 情報管理に用いられるAI技術の概要およびその特徴について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、AI技術の進展とその課題について、自分なりの説明をまとめる。
14	①授業テーマ 情報管理に関する最新動向・事例② ②授業概要 直近の情報管理に関連するニュースや政策動向等を踏まえ、授業で学んだ内容を踏まえた解説、紹介を行う。場合によっては、当該分野に精通する専門家をゲストとして招く場合もある。（適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 事前に提示された参考文献等を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、自分なりの説明をまとめる。
15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 計14回の授業の内容を総括し情報管理論に関するまとめを行い、知識を確認するため授業内試験を実施します（1時間：適用ルーブリックC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。授業内試験終了後、試験内容について解説を行います（30分）。デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報管理に関する現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 講義ノート全体を読みなおし、各回のテーマについて自分の考えをもとに論じられるように準備する。 ④復習（120分） 授業の内容を振り返り、自分の考えを再検証するとともに、今後の学習方針を考える。
関連科目	情報法（RGMT 3471）、サイバーセキュリティ論（RMGT 3573）、プライバシーと法（RGMT 3472）
教科書	特になし
参考書・参考URL	小向太郎『情報法入門（第5版）デジタル・ネットワークの法律』（NTT出版、2020年）
連絡先・オフィスアワー	開講時に告知します。
研究比率	災害マネジメント10%：パブリックセキュリティ10%：グローバルセキュリティ10%：情報セキュリティ70% 危機管理学50%：法学50%

